

探究的なびわ湖学習のテーマ

「びわ湖が育む命について考えよう ～生き物がすみやすいびわ湖を目指して～」

《実践内容》

		主な学習内容	
		□：展望活動 ■：びわ湖学習	◆：船内生活 ◇：ふれあい体験学習
航海前の学習	<p>■びわ湖のめぐみを味わう 【びわ湖の魚の価値観を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産課の出前授業を活用 ・湖魚を食べ、漁師さんの話を聞く <p>■びわ湖の魚が減ってきた原因を予想する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲量の推移グラフをおさえ、湖魚減少の原因を予想し、航海中の学習に向けた課題を設定する 	<p>◆フローティングスクールを知る</p> <p>◆「3つのあ」を知る</p>	<p>目指す子供の姿1 びわ湖の魚の価値観を高めたり、減少についての危機感を感じたりすることで生き物の保全の必要性に気付くことができる</p>
航海1日目	<p>□南湖展望</p> <p>■プランクトン採取見学</p> <p>■2日目のびわ湖学習のめあてを確かめる</p>	<p>◆出港見学</p> <p>◆開校式・オリエンテーション</p> <p>◆避難訓練</p> <p>◆食育タイムⅠ・昼食／船内見学</p> <p>◇寄港地活動 (大津湖岸ウォークラリー)</p> <p>◆夕食・食育タイムⅡ／シャワー</p> <p>◇「湖の子」の夕べ (学校紹介・綱引き大会)</p> <p>◆就寝準備</p> <p>◆自分を見つめる時間</p>	<p>目指す子供の姿2 在来魚を中心とするびわ湖の環境の課題にふれ、生き物の保全の必要性を感じ、追求したい課題を見つけることができる</p>
航海2日目	<p>□沖島展望</p> <p>■魚の採捕体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獲れる魚の多くを外来魚が占めることを実感する <p>■びわ湖の生き物ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましいびわ湖岸を考える <p>■プランクトンウォッチング</p> <p>■外来魚解剖調査(インターネット通信による師範実験観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来魚が在来魚に与えている影響を実感する <p>■学習のまとめ(個人、班交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マインドマップの活用 	<p>◆朝のつどい</p> <p>◆朝食／活動準備</p> <p>◆出港見学</p> <p>◆昼食／荷物整理</p> <p>◆「湖の子」掃除</p> <p>◆閉校式</p>	<p>目指す子供の姿3 保全の重要性を追求し、在来の生き物がすみやすいびわ湖について考え、伝えることができる</p>
航海後の学習	<p>■びわ湖の魚が減ってきたことについて、航海前に予想した原因と航海中に学んだことを比べて整理する</p> <p>■在来の生き物がすみやすいびわ湖にするため大切なことを考え、それに関わる取組を調べて発表する。</p>	<p>◆「3つのあ」の継続</p>	



かご網を琵琶湖から引き揚げ、採捕した魚を観察し、生態系の一端を感じる



ワークショップを通じて、生き物がすみやすいびわ湖について考える

